

令和8年1月7日
四国地方整備局同時発表：高松経済記者クラブ
高知県政記者クラブ

高知新港でクルーズ船を対象とした シャトルバスの実証運行を行います！

高知新港は四国最多の寄港回数を誇るクルーズ船の人気寄港地ですが、大型クルーズ船の寄港と行楽シーズンが重なった際には、下船客により高知新港近傍を運行する定期周遊バスで車内混雑等が発生しており、二次交通の確保が課題となっています。

このため、1月13日に外航クルーズ船「シーボーン・アンコール」の寄港にあわせて、関係者と連携して高知新港～桂浜においてシャトルバスの実証運行※を実施するとともに、利用者に対するアンケート調査を実施し、効率的かつ持続可能な二次交通の構築に向けた方策の検討を進めます。

※本実証運行は、関係機関や地元交通事業者とともに設立した「高知新港における二次交通に係る実証検討会（参考資料参照）」における意見等を踏まえて実施するものです。

記

1. 概要

日 時 : 令和8年1月13日（火） 9:00～19:00
場 所 : 高知新港、桂浜
対象クルーズ船 : シーボーン・アンコール（全長210m 総トン数40,350トン、乗客定員600人）
前港：神戸港 次港：基隆港（台湾）
スケジュール：高知新港入港予定時刻9:00、旅客下船予定時刻9:30頃
出港予定時刻19:00
実 証 項 目 : クルーズ船寄港時の二次交通の適切なルート、
金額設定に関するアンケート調査 等

2. 取材要領 : 現地での取材を希望される報道関係の方は、1月9日（金）正午までに別紙2「取材申込書」にて予めお申し込みください。また、当日は9:30に別紙1に示す箇所にお越しください。
気象、海象状況等により、日程が変更となる場合は、別紙2の連絡先に連絡させていただきます。

【問合せ先】 国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
室長 岡崎 裕
○課長補佐 高木 裕子 ○：主な問合せ先
TEL 087-811-8360【直通】

高知新港における二次交通対策実証事業について

別紙1

【背景】

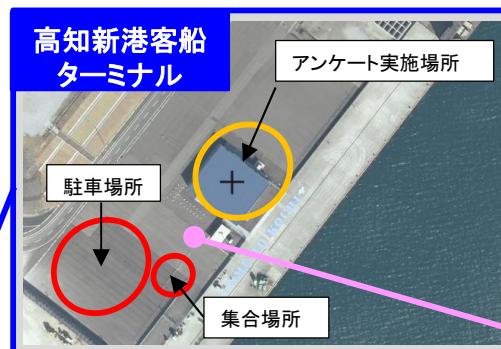
- 高知新港ではクルーズ船下船客の主な二次交通手段として、①クルーズ船社が手配した有料バス、②自治体(高知県・高知市)が運行する無料シャトルバス、③高知新港近傍を運行する定期周遊バスが利用されている。
- 一方で、大型クルーズ船の寄港と行楽シーズンが重なった際には、定期周遊バスの車内混雑や停留所での下船客の滞留などが生じており、この対策が課題となっている。
- また、自治体が運行する無料シャトルバスに関しては、運行費用を自治体が負担しているが、近年の寄港回数の増加に伴い、財政面など、持続可能な受け入れ体制の枠組みが課題となっている。

【目的】

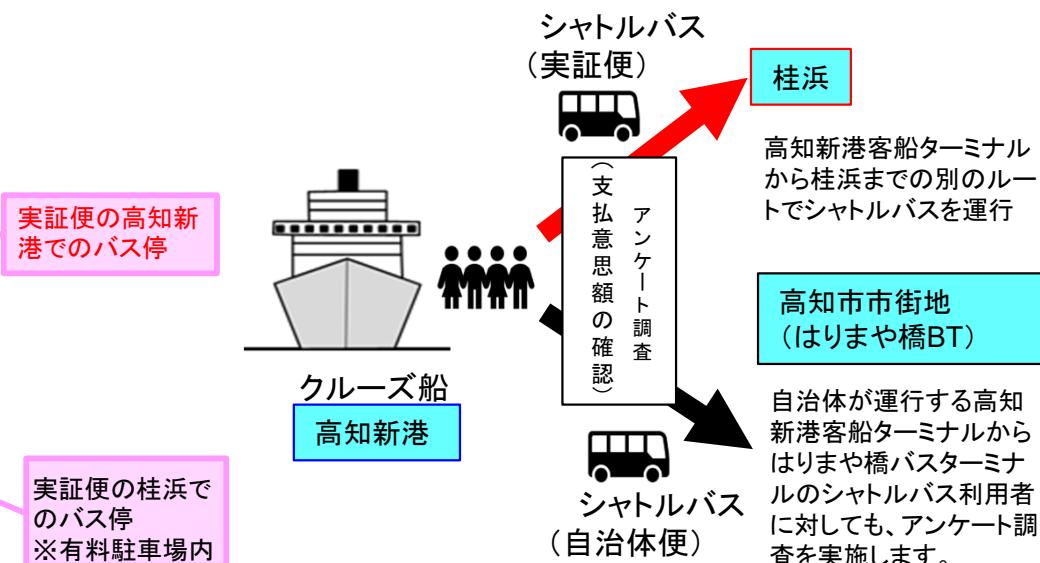
- 定期周遊バスの混雑緩和等に寄与する二次交通の適切なルートや、シャトルバス有料化を検討するための情報収集

【内容】

- 自治体が運行するシャトルバスとは別に、地元バス事業者や自治体と協力して、高知新港～桂浜間のシャトルバスを運行
- 自治体が運行するシャトルバスの有料化に向けた金額設定に関するアンケート調査の実施



実証運行イメージ



別紙2

四国地方整備局

クルーズ振興・港湾物流企画室 宛

メール: pa.skr-cruise@gxb.mlit.go.jp

高知新港クルーズ船二次交通対策実証事業 取材申込書

貴社名 : _____

連絡先 : TEL _____

(代表者の連絡先)

※取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入してください。

取材当日に変更等が生じた場合に連絡させていただきます。

取材者氏名 1) (代表者) _____

2) _____

3) _____

令和8年 1月9日 (金) 12時までに

メール 送信をお願い致します。

実証検討会の構成員及び実証試験の枠組み

